

GAP(農業生産工程管理)を活用して  
安全・安心で持続的な農業を!!

## 兵庫県内のGAP実践事例集②



正しい農薬保管・表示を徹底することで  
注意喚起!



農場の管理体制、ほ場地図、ルール等を常に意識!



農場内も整理整頓して清潔に!

令和元年度ひょうごのGAP拡大推進加速化事業

## ■ 持続的な農業経営を目指して ■

GAP(農業生産工程管理)は、農作業安全、安全な農産物の生産・出荷、環境への配慮、労務管理等において、良い農業の実践を通して、持続的な農業活動を続けるための取り組みです。

GAPの実践は、消費者へ安全・安心な農産物を安定して出荷するためにも大変重要です。

平成31年3月に作成した事例集では、県内で

GAP認証を取得している8事例を紹介しましたが、GAPに取り組む産地や農業者も少しずつ増えており、認証取得に至る背景も様々です。

農業者へのGAPの理解促進や取り組み啓発をさらに進めるため、本事例集では新たに7事例について紹介します。

## ■ 目 次 ■

### 1 事例紹介

- ①兵神機械工業株式会社 兵神ファーム(播磨町) ..... P 1
  - ②農事組合法人 玉野町営農組合(加西市) ..... P 2
  - ③株式会社 玄米家(加東市) ..... P 3
  - ④有限会社 環境微生物研究所(市川町) ..... P 4
  - ⑤株式会社 Teams(豊岡市) ..... P 5
  - ⑥有限会社 ワタミファーム丹波農場(丹波市) ..... P 6
  - ⑦株式会社 アグリア일랜드(南あわじ市) ..... P 7
- 2 GAPの意義・目的 ..... P 8～P 9
- 3 GAP認証の種類 ..... P10

## 1 事例紹介

### ■ 事例紹介農場MAP





水耕栽培設備メーカーとして自社農場でのJGAP認証を初取得！  
青果物、穀物と認証取得を拡大し、“安全・安心”を届けます！



兵神機械工業株式会社 兵神ファーム

- 農場データ●
  - 経営面積 15.7a (葉物野菜)、14a (米)
  - 構成員数 6名 (正社員)、1名 (契約)、2名 (パート)
- GAP認証データ●
  - 認証種類 JGAP
  - 取得時期 平成30年12月17日 (青果物)、  
令和元年10月17日 (穀物)
  - 認証品目 青果物(ベビーリーフ、チンゲンサイ、水菜 等)、穀物(米)
- 問い合わせ先 ● <http://hsn-farm.com/>

認証取得までの準備期間  
(約1年)

目標「2018年中に認証取得！」

2018.7 JGAP指導員研修受講  
帳票作成を開始、農場改善  
や定期的なミーティングで  
審査に向けた進捗確認

2018.11 審査受審

※準備期間には、意志決定等のプロセスも含めており、あくまで目安です。

●GAPに取り組んだきっかけ・GAP認証を取得しようと思った理由は？

① 企業として既にISO 9001や14001を取得。

② 農業分野でも、適切な農場運営を行い、より安心・安全な農産物をお客様にお届けできる体制づくりのため。

●GAP認証に取り組んで苦労したことは？

① 農場建設から時間が経っており、施設の環境整備に経費がかかった。

② 元々ISO取得などで様々な資料を作成していたが、JGAPのルールに基づいた内容や、新たな管理項目があり、作成に苦労した。

●GAP認証に取り組む中で改善されたことは？

① 適切な工程管理の実施により、トレーサビリティが向上した。

② トラブル発生時の原因究明や迅速な対処が可能な体制づくりができた。

●GAP認証取得後、経営状況の変化を感じられたか？

ISOを用いた管理体制に加え、JGAPの農業分野に特化した管理体制が整い、弊社の水耕設備ユーザーへのサポートがより充実した。

●GAP認証取得後、取引先や消費者からの評価に変化を感じられたか？

GAP認証食材を使ったレストラン「グランイート銀座」と契約し、販路拡大につながった。

●GAP認証の活用状況や、今後の展望は？

水耕栽培設備メーカーとして、設備ユーザーの見本となるべく、栽培指導だけでなく、農場運営についてもサポートできる体制づくりに尽力したい。

●今後GAPに取り組まれる方や、認証取得を目指す方へのメッセージ

資料作成や農場改善での手間暇はかかりましたが、認証取得に向けて、企業として農業に取り組む上での必要事項の見直しや、リスクの発見ができました。

社員教育の徹底や、現場意識も向上し、取得成果を感じています。





地域の農業をリードしてきた“玉野” GAP認証取得によって、次代も“玉野”から、「やります 変えます チャレンジします」! オシャレで環境にやさしい農業、伝説を創り出す。



## 農事組合法人 玉野町営農組合

- 農場データ ● .....
  - 経営面積 44.8ha
  - 構成員数 組合員107名
- GAP認証データ ● .....
  - 認証種類 ASIA GAP
  - 取得時期 令和元年8月25日
  - 認証品目 穀物(米〔粳、玄米〕、小麦、大麦)
- 問い合わせ先 ● TEL : 0790-47-0949 .....  
Mail : tamanoac@ares.eonet.ne.jp

### 認証取得までの準備期間 (約10ヶ月)

- 2018.10 認証取得に向け取り組み開始
- 2018.12~ コンサルの指導開始
- 2019.5~ 審査に向けて集中的に準備(事務所・倉庫内の整理整頓、記録書類・掲示物の作成等)
- 2019.7 審査受審

### ● GAPに取り組んだきっかけ・GAP認証を取得しようと思った理由は?

- ① 販売先からの信頼を得るため。
- ② 危険な作業や場所の洗い出しや、経営の効率化を図るため。
- ③ 事業の持続的発展のため。

### ● GAP認証に取り組んで苦労したことは?

- ① 日常、当たり前に行っている業務を具体的に文書化していくこと。
- ② 元々倉庫内の整理はしていたが、雑然と配置している農機具類、工具などを明確に区分し、配置していくこと。

- ③ 危機管理への対応策。
- ④ GAP認証についての組合員の理解、意識改革や意思統一。

### ● GAP認証に取り組む中で改善されたことは?

- ① 危機管理意識の醸成とリスク管理の徹底が図れた。
- ② 業務ごとのルールが確立し、責任が明確化した。
- ③ ほ場、施設、生産物、作業等の全般にわたって、「安全・安心」、「環境」について、組合員が自ら考えて行動するようになり、再認識と徹底が行えた。

### ● GAP認証取得後、経営状況の変化を感じられたか?

経営状況での変化はすぐには見られない。



### ● GAP認証取得後、取引先や消費者からの評価に変化を感じられたか?

取引先からの評価や信頼度は、一層高まったと思われる。

### ● GAP認証の活用状況や、今後の展望は?

- ① H Pやパンフレットに「GAP認証」を表示し、付加価値を高め、生産物の差別化を図る。
- ② 組合員の自覚と意識高揚につなげ、帰属意識を高めることで、持続可能な農業経営を目指す。

### ● 今後GAPに取り組まれる方や、認証取得を目指す方へのメッセージ

GAP認証取得によって、経営改善や取引先の拡大等、目に見える変化はすぐには見られません。組織内の考え方は確実に変わります。短期スパンでは、業務や職場環境の改善。長期スパンで考えると、経営改善や販路拡大につながるものと思われれます。



## GLOBAL G.A.P. 認証取得により、仕事の質を上げ信用につなげています!



### 株式会社 玄米家

- 農場データ●
  - 経営面積 32ha
  - 構成員数 5名
- GAP認証データ●
  - 認証種類 GLOBAL G.A.P. (米)、JGAP (たまねぎ)
  - 取得時期 平成30年1月31日 (GLOBAL G.A.P.)  
令和元年7月31日 (JGAP)
  - 認証品目 酒米 (山田錦)、たまねぎ
- 問い合わせ先 ● TEL : 0795-43-9555

#### 認証取得までの準備期間 (約10ヶ月)

- 2017.1 認証取得に向けたプロジェクトチーム結成。  
ライスセンターの製造管理工程の見直し、倉庫の改善、作業管理から在庫管理まで可能な管理システムの構築。
  - 2017.5 認証審査受審の申請書提出。
  - 2017.10 審査受審、認証へ
- ※準備期間は審査の受審までに要した期間の目安です。

#### ●GAPに取り組んだきっかけ・GAP認証を取得しようと思った理由は?

- ①平成24年度の兵庫県MBA塾受講時に「自分でもとれる」と目標にしていた。
- ②高水準で高品質な兵庫県産山田錦に、さらに「国際水準の安全管理」という特徴を付加し、PRに活用できると考えたから。

#### ●GAP認証に取り組んで苦労したことは?

- ①マニュアルが40ページほどになり、作成に手間がかかった。
- ②GLOBAL G.A.P.は、特に更新費用が高額で経費

負担が大きいこと。

#### ●GAP認証に取り組む中で改善されたことは?

- ①安全や衛生に対する社員の意識が向上した。
- ②認証取得にあたり、「生産(現場)担当」と「販売(事務)担当」が、それぞれの立場で話し合いや取り組み提案し、相互の業務理解が深まる良い機会となった。

#### ●GAP認証取得後、経営状況の変化を感じられたか?

- ①販路が拡大し、収益が向上した。
- ②取引先へのPR効果があった。

#### ●GAP認証取得後、取引先や消費者からの評価に変化を感じられたか?

- ①仕入取引時のPRにより、GAP認証取得企業ということが取引先から評価され、信頼性が向上した。
- ②全国各地から酒米の問い合わせや管理体制の見学申し込みが増加し、人的なネットワークが広がった。

#### ●GAP認証の活用状況や、今後の展望は?

酒米については、GAP認証の製品が一般製品より高価格で販売できている。今後、実需者のニーズに応じて増産する場合は、産地のグループ認証を勧め、生産量を増加させていきたい。

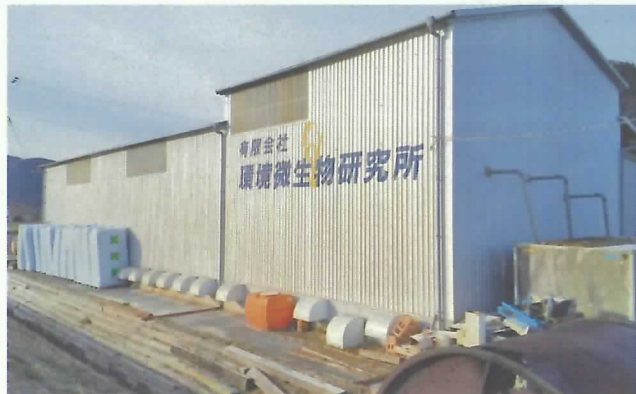
#### ●今後GAPに取り組まれる方や、認証取得を目指される方へのメッセージ

農業も一製造業であり、他の分野の製造業ではGAPに準じた取り組みが当たり前のように行われています。特に雇用をしている農業法人や経営体などは、GAPの基準を最低ラインと意識して取り組むことをお勧めします。





## 農場でのリスク管理徹底で安全安心な農産物を出荷します！



### 有限会社 環境微生物研究所

- 農場データ ●
  - 経営面積 18.5ha
  - 構成員数 3名
- GAP認証データ ●
  - 認証種類 ASIA GAP
  - 取得時期 令和元年8月3日
  - 認証品目 穀物（米粉、玄米）、小麦、小豆、大豆
- 問い合わせ先 ● TEL：0790-26-2879 .....  
(090-1029-2985)

#### 認証取得までの準備期間 (約5ヶ月)

農場の整理整頓	3ヶ月
記帳書類等の整理	3ヶ月
コンサルへの依頼・指導	4ヶ月
その他（関係者からの支援等）	4ヶ月

※各準備の時期は重複も含めた期間であり、準備期間は、その他取り組み等も含めた目安です。

● GAPに取り組んだきつかけ・GAP認証を取得しようと思った理由は？

- ① 農場の整理整頓を行うことで、場内の危険な箇所を把握しようと思ったため。
- ② 従業員の意識改革により、機械の定期的なメンテナンス環境の整備など、農場の仕事を管理を改善しようと思ったため。

● GAP認証に取り組んで苦労したことは？

- ① 書類等の作成事務が大変。
- ② 改善点が見つからないことが多く、日々記録していることの大切さを実感した。

● GAP認証に取り組む中で改善されたことは？

- ① 労働安全、トラクター等の機械の取り扱いなどが大切だと思えるようになった。
- ② 労働環境では、お互いに注意喚起の一声をかける重要性を感じている。

● GAP認証取得後、経営状況の変化を感じられたか？

収入面での増加はあまり感じられていないが、従業員が率先して整理整頓をするようになり、責任感が出てきたことが経営面で良かったと感じている。



● GAP認証取得後、取引先や消費者からの評価に変化を感じられたか？

まだ、消費者、取引先からの評価を感じることは少ないが、より良い農場管理ができることが大切だと思う。

● GAP認証の活用状況や、今後の展望は？

GAP発信の場所・機会等はまだ少ないと感じている。今後も、従業員とのコミュニケーションを大切にしながら、より良い農場経営を目指したい。

● 今後GAPに取り組まれる方や、認証取得を目指す方へのメッセージ

農作業記録の徹底や、農場・作業場などの整理整頓を日頃から積み重ねていくことが、GAPへとつながります。





認証取得をきっかけに、従業員の意識改革、作業効率の向上へ!



株式会社 Teams

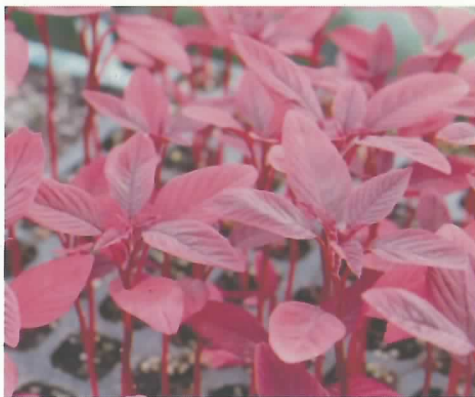
- 農場データ●.....
- 経営面積 2.7a
- 構成員数 9名
- GAP認証データ●.....
- 認証種類 GLOBAL G.A.P.
- 取得時期 令和元年7月3日
- 認証品目 ベビーリーフ
- 問い合わせ先 ● info-rakunouya@rakunouya.com

認証取得までの準備期間 (約10ヶ月)

- 2018.9 認証取得を目指し、従業員との話し合いを始める。
- 2018.11 コンサルの指導を受け、
- ~2019.4 書類整理などの準備を進める。
- 2019.5 認証審査受審
- 2019.6 審査指摘事項の是正

- GAPに取り組んだきっかけ・GAP認証を取得しようと思った理由は？
- ① 行政機関の勧めなどもあり、将来的な必要性を感じたから。
- ② GAPにより、農作業の標準化を図るため。
- GAP認証に取り組んで苦労したことは？
- 従業員への意識改革。
- GAP認証に取り組む中で改善されたことは？
- 従業員が積極的に整理整頓や備品管理を意識して取り組むようになり、コミュニケーションが円滑になった。

- GAP認証取得後、経営状況の変化を感じられたか？
- 現時点では、まだ実感はないが、日々の積み重ねから今後変化が出て、従業員のスキルアップ、給与アップへとつながることを期待している。



- GAP認証取得後、取引先や消費者からの評価に変化を感じられたか？
- 特に大手企業の取引先などの信頼は高まり、営業活動においても大きな武器になると考えている。



- GAP認証の活用状況や、今後の展望は？
- 障害者雇用の受け入れの際、整備した作業マニュアルを活用し、作業指示や従業員との情報共有が効率的になったように感じている。
- 今後GAPに取り組まれる方や、認証取得を目指す方へのメッセージ
- 書類作成や認証の更新費用が大変ですが、従業員の作業内容管理や情報共有での作業効率向上、整理整頓などの日々の積み重ねがGAP、認証取得へとつながります。



JGAP認証取得の過程で、生産工程、労務管理、衛生管理、環境への影響等多面的な視点でリスク管理。より安全で安心な農産物を生産し、消費者へお届けしています！



## 有限会社ワタミファーム 丹波農場

- 農場データ●.....
- 経営面積 3.6ha
- 構成員数 16名
- GAP認証データ●.....
- 認証種類 JGAP
- 取得時期 平成30年5月11日
- 認証品目 みずな、レタス、大根、たまねぎ
- 問い合わせ先 ● TEL : 0795-80-3011.....
- Mail : farm\_tanba@watami.net

### 認証取得までの準備期間 (約6ヶ月)

書類整理	2ヶ月
整理整頓	2ヶ月
リスク評価	2ヶ月
その他、JGAP指導員の講習受講等	

※各準備の時期は重複も含めた期間であり、準備期間は、その他取り組み等も含めた目安です。

### ●GAPに取り組んだきっかけ・GAP認証を取得しようと思った理由は？

- ①有機JASの認証は取得していたが、有機JASに含まれない、労働環境、アウトプット評価、食品衛生等多面的なリスク評価の基準を導入するため。
- ②リスク評価の考え方を通じて、全国にあるその他農場間での思考の統一化を図るため。

### ●GAP認証に取り組んで苦労したことは？

従業員含め、何のタイミングのかを意識づけることに時間がかかったが、意識が向上

し、考え方が変化したことによつて取り組みの進み方が早くなった。

### ●GAP認証に取り組む中で改善されたことは？

- ①これまで意識できていなかったこと（収穫時の異物混入の可能性、残渣の後始末の方法等）に意識が向くようになった。
- ②多面的な項目に思考、行動、作業が合致しているか確認できるようになった。

### ●GAP認証取得後、経営状況の変化を感じられたか？

- ①モノが整理整頓でき、無駄なモノが削減できた。
- ②情報の整理により、一部の人しか知らない情報が減った。（事故発生時の対処、取引先等）

### ●GAP認証取得後、取引先や消費者からの評価に変化を感じられたか？

一部取引先からは、GAPの取り組みを好意的に受け止めてもらっているが、GAPの取得のみでの取引開始例は

なし。あくまで、付随的なものとして、消費者や取引先からの評価を受けている。

### ●GAP認証の活用状況や、今後の展望は？

- ①農業経営において、農場責任者の人材育成ツールとして、今後も取り組みを継続したい。
- ②農場運営の一つの指針としてGAPを活用したい。

### ●今後GAPに取り組まれる方や、認証取得を目指す方へのメッセージ

GAPに取り組むことが目的ではなく、取り組む過程で農場のリスクに気づき、改善することを意識して取り組まれることをお勧めします。分からないことを聞ける方（行政、実践者など）に相談したり、一部でもやってみて何か効果を感じれば、少しずつ導入を進めていけば良いと思います。





GLOBAL G.A.P.認証取得により、安全・安心なトマト作り、環境保護や社員の健康・安全・福祉の充実を図っていきます！



株式会社 アグリアイランド

- 農場データ●.....
  - 経営面積 13.3a
  - 構成員数 14名（正社員）
- GAP認証データ●.....
  - 認証種類 GLOBAL G.A.P.
  - 取得時期 令和元年7月4日
  - 認証品目 トマト
- 問い合わせ先 ● TEL：0799-50-2361.....

認証取得までの準備期間  
(約6ヶ月)

認証取得に向けて、2ヶ月に1回のペースでコンサルの指導を受け、約6ヶ月かけて認証取得。

※書類整理に時間はかかった(約3ヶ月)が、以前から作業場の整理整頓をしていたおかげで、その点の時間短縮ができた。

●GAPに取り組んだきっかけ・GAP認証を取得しようと思った理由は？

安全性の把握や客観的な評価のため。

●GAP認証に取り組んで苦労したことは？

- ①農作業をしながらの認証取得だったので、書類等の整理・作成事務に苦労した。
- ②毎年の更新費用がかかり、経費負担が大きいこと。

●GAP認証に取り組む中で改善されたことは？

何か問題が起こってからの取るべき対策が明確になった。マスバランス(物質収支)

の把握により、無駄が見えてきて、農場経営の改善・効率化につながった。

●GAP認証取得後、経営状況の変化を感じられたか？

農場責任者として気づきにくいところに注意喚起することができ、作業員の不安が減り、効率よく動くことができています。

●GAP認証取得後、取引先や消費者からの評価に変化を感じられたか？

現時点では、認証取得後の期間も短いため、特に変化は感じられない。

●GAP認証の活用状況や、今後の展望は？

- ①安心して取引をしてもらえる農場として、商談の場等でGAP認証農場であることを積極的に発信していきたい。
- ②農業経営において重要な、従業員の人材育成に応用していきたい。



●今後GAPに取り組まれる方や、認証取得を目指す方へのメッセージ

GAPに取り組むことは、書類の作成・整理等、一見面倒くさいと思われるかもしれませんが、日々の作業記録の徹底や整理整頓を積み重ねることで、農場運営や経営の改善につながっていくと思うので、ぜひできることから始めてみてください。



## 2 GAPの意義・目的

# Good Agricultural Practice

農産物の生産において、「食品の安全確保」、「環境保全」、「労働安全」、「人権保護」、「農場経営管理」に関する取り組みを行うことで、持続的な農業生産につながります。

GAPはこれらの取り組み状況を、栽培の準備段階から収穫・調製・出荷段階まで、記録簿や掲示物によって確認・表示しながら農業活動を改善し、より良い農業経営を実現する取り組みです。



### ■ GAPで農業経営におけるリスクを軽減

皆さんが普段から心がけていることも、GAPにつながっています。

#### たとえば、「5S」の実践

「整理→整頓→清掃→清潔→習慣」を取り組み続けることで、作業の効率化やリスクの軽減が図れ、生産現場の改善につながります。

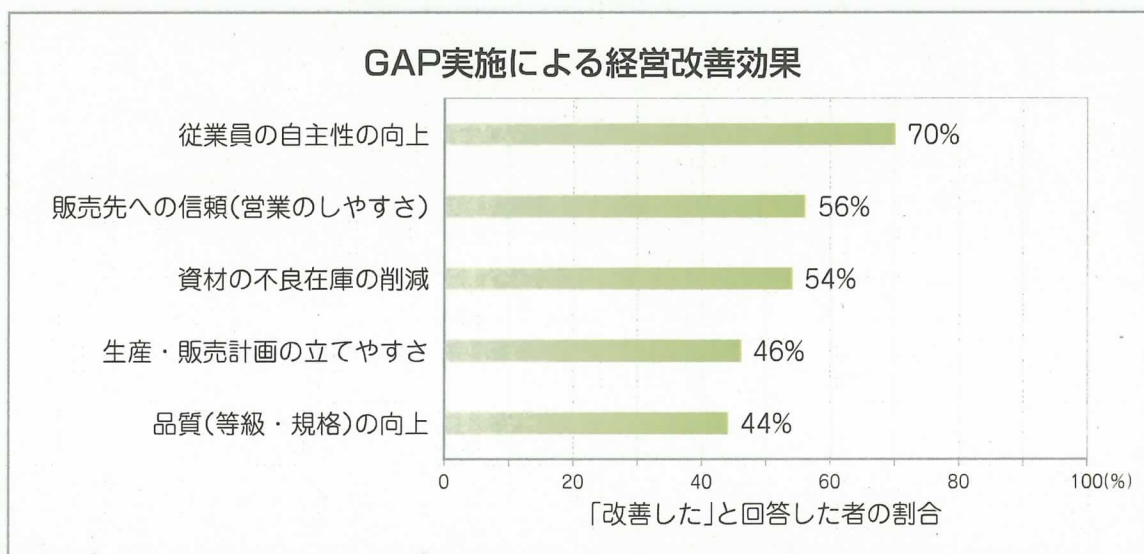
#### たとえば、「記録」を残すこと

作業工程のチェックリストを作成し、作業時に毎回チェックをすることで、作業ミスを減らせます。

万が一、作業ミスが起こった場合でも、記録を残しておくことで、どの工程で誰が行ったかをさかのぼって調べることができます。

記録は、事故を起こさないためにも、万が一事故が起こった場合にも、大切な書類となります。

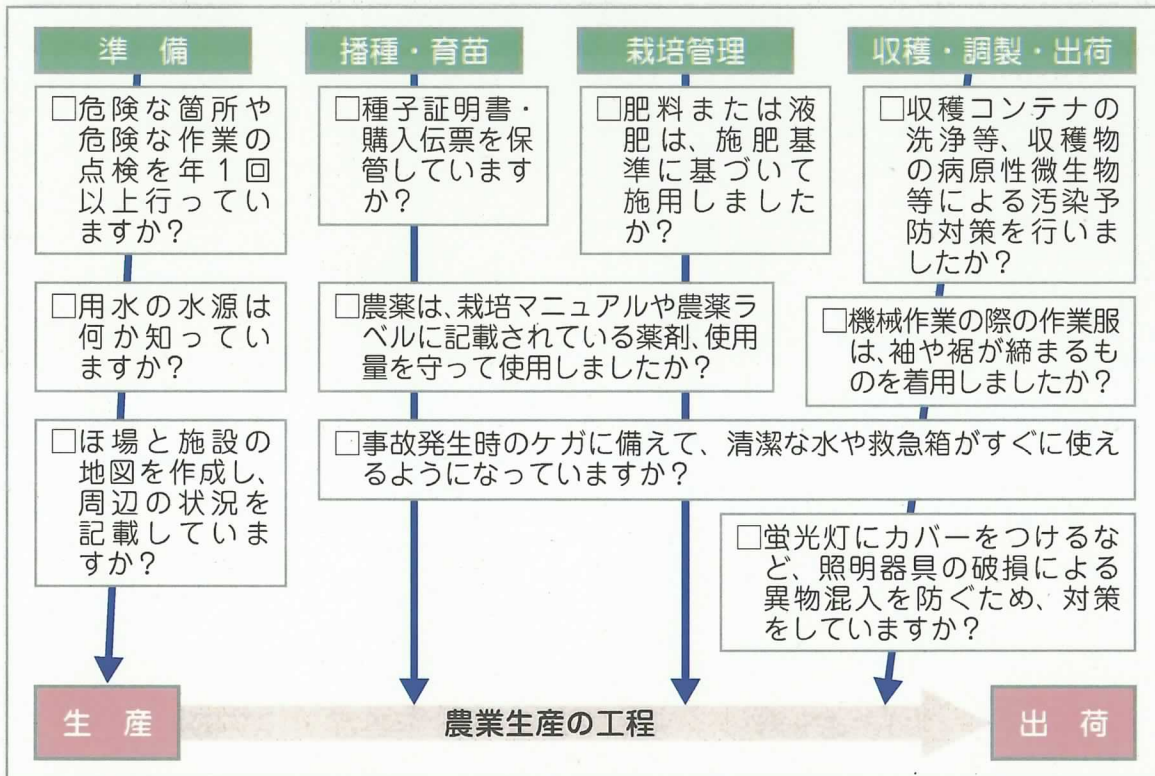
### ■ GAPを実施すると、経営の改善に効果あり



出典：「GAP導入による経営改善効果に関するアンケート調査結果」(H25.1 (独)農業・食品産業技術総合研究機構)を基に農林水産省生産局農業環境対策課で作成したものを引用



## GAPの点検項目のイメージ(野菜の場合)



## GAPの取り組み例

食品安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>照明器具の破損による異物混入を防ぐため、例えば、蛍光灯にカバーをつけるなど、破損時の飛散防止対策をしている。</li> <li>作業場所で飲食をする場合は、飲食後に清掃し、又は必要に応じて殺菌をして農産物の衛生に影響がないようにする。</li> </ul>
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物の洗浄後の廃水は、残さを網などで除去した上で排水する。</li> <li>電気や重油、灯油等のエネルギー使用量を把握し、温室効果ガスである二酸化炭素の発生抑制と省エネルギーに努める。</li> </ul>
労働安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほ場や道路、施設全体の危険な箇所や危険な作業の点検を年1回以上行う。</li> <li>事故発生時のケガに備えて、清潔な水や救急箱がすぐに使えるようになっている。</li> </ul>
人権保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働者を雇用している場合、休憩時間や作業場の照明の明るさ、有給休暇の取得やメンタルヘルスなどについて、年1回以上話し合いをし、記録する。</li> </ul>
農場経営管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>農場や資材管理、労務管理等の各部門の責任者がわかる組織図をつくり、担当者を明確にする。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>種苗や資材を購入する際には、購入元業者の信頼性の確認を行っている。</li> </ul>



### 3 GAP認証の種類

GAPには、GLOBAL G.A.P.、ASIAGAP、JGAPの認証があります。

これらは、GAPに取り組んでいることの客観的な証明となり、取引先の求めや、農産物を輸出する場合、農業者の経営判断として、取得するかどうかを決めることとなります。

区 分	GLOBAL G.A.P.	ASIAGAP, JGAP
運営主体	FoodPLUS GmbH(ドイツ)	一般財団法人日本GAP協会
審査会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テュフズードジャパン(東京都)</li> <li>・インターテック・サーティフィケーション(東京都)</li> <li>・SGSジャパン(神奈川県)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道有機認証・GAP認証センター(北海道)</li> <li>・インターテック・サーティフィケーション(東京都)</li> <li>・日本能率協会審査登録センター(東京都)</li> <li>・S&amp;Sサーティフィケーション(東京都)</li> <li>・ビューロベリタスジャパン(神奈川県)</li> <li>・(一財)日本品質保証機構(東京都)</li> </ul>
審査費用	25～55万円程度+旅費	JGAP:10万円程度+旅費 ASIAGAP:10～15万円+旅費
民間コンサルタント費用	40～55万円程度+旅費	25～30万円程度+旅費

兵庫県では、「GAPの取り組み」の普及拡大と、輸出や大手実需者との取引を目指す生産者に対しては、「GAPの認証取得」を進めるといふ、取り組みと認証取得の2段階で推進しています。



作成  
令和2年3月

ひょうごの野菜消費拡大推進協議会  
兵庫県農政環境部農林水産局農産園芸課